

(森林機能の維持・向上による評価)

(区分) 国補

事業名	水源地域緊急整備事業(火山)	事業箇所	山梨市	牧丘町	北原	地区名	東棚沢(ひがしたなさわ)	事業主体	山梨県
(1)事業概要					(3)事業の妥当性評価				
①課題・背景					①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か)				
本計画箇所は、山梨市牧丘町北原地内に流入する一級河川鼓川上流に位置している。林分密度の過密化による保安林の機能低下や、近年の豪雨による溪流の荒廃が顕著となっていることから、溪間工及び森林整備により、保安林機能の高度化を図る必要がある。					・森林法第41条第1項に規定された「保安施設事業」に該当				
					②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか)				
②整備目標・効果					③経済妥当性				
□主要目標					費用便益費 便益(B) / 費用(C) = 1.73 > 1.0				
○森林機能の維持・向上 要整備森林の状況(ランク) 4 ≥ 3 ※ 林分密度(RY) 0.9 ≥ 0.8 ※ 山地荒廃率(%) 9.2 ≥ 0.5 ※ (※評価基準値)					・便益(B) = 251 百万円 ・費用(C) = 145 百万円				
					④事業実施・規模の妥当性				
□副次目標					・林内照度がなく、下層植生が見られないことから、本数調整伐を6ha実施し、下層植生の回復を図る				
○土石流災害の防止 保全対象 人家10戸 県道100m 土砂整備率 (現況) 13% < 70% ※ 災害実績 無 ※ 重要公共施設 無 ※ (※ 評価基準値)					⑤整備手法の有効性				
					・保安林機能の回復を図る目的から治山事業による整備が有効				
□副次効果					⑥環境負荷への配慮				
-					・切土法面は緑化し、裸地を残さない				
					・使用機械は排ガス対策型とし、環境負荷を軽減する				
					⑦事業計画の熟度				
					・地元山梨市より強い要望あり				
					<妥当性評価>				
					・7項目すべて妥当であることから、妥当と判断				
(2)整備内容と整備量					(4)事業間優先度評価				
①整備内容 谷止工4基 森林整備A=6.00ha					・貢献度ランク: a 副次効果ランク: 1 優先度評価: SI				
②整備期間 平成31年度～平成34年度					(5)総合評価				
③総事業費 160百万円(国費 80百万円(5.5/10) 県費 80百万円(4.5/10))					○				
④全体計画					・(3)及び(4)の結果から「優先的」に実施				
平成31年度 谷止工1基 森林整備A=6.00ha 40百万円					【事業位置図等】 				
平成32年度 谷止工1基 40百万円									
平成33年度 谷止工1基 40百万円									
平成34年度 谷止工1基 40百万円									
⑤既整備内容・期間・事業費									
平成19年度 谷止工2基 76百万円									